

# 安全に関する 企業風土測定ツール

～安全意識を全社員へ～

企業風土をアンケート調査によって「見える化」します！

アンケート調査の実施

アンケート結果の集計  
(システムで自動集計！)

報告書の完成  
(システムで自動出力！)

## <アンケート調査の内容>

このアンケート調査は、58 の設問からなり、これらの設問を 14 の区分に分類し、5 つの領域に集計した上で、測定・評価を行います。

1	私の職場では、あいさつ、身だしなみ、マナーについて、日頃から繰り返して指導がされている
2	私の職場では、日常業務(点検・整備など)の中で気付いた事が報告され、日々の改善に繋がっている
3	私の職場では、始業や引継時に、本人の状況をふまえて、親身になった指示・指導がされている
:	
58	私の会社では、経営者層と現場が安全に関して直接的に話し合う機会を積極的にもっている

回答方式は、基本的に以下の 5 択形式となっており、回答に応じた得点を割り振り、集計を行います。

回答	得点
非常によく当てはまる	2点
多少当てはまる	1点
どちらともいえない	0点
あまり当てはまらない	▲1点
全く当てはまらない	▲2点

## ※アンケート調査の実施支援について

2014 年 12 月末までの期間は、安全に関するアンケート調査の実施支援を行っています。詳細については、下記の当研究所 HP をご参照ください。

## <報告書の内容(何が分かるのか)…一例>

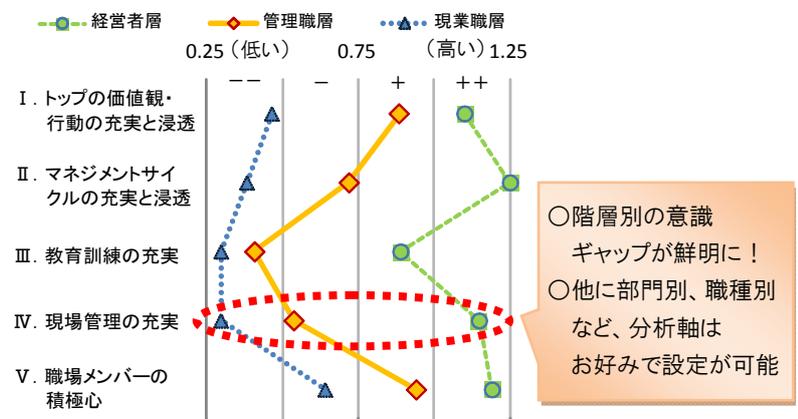
### ■同業他社平均値との比較

	○:当社   :他社平均			(低い) 0.25	0.50	(高い) 0.75	当社	他社平均	差異
	●		○						
I. トップの価値観と行動の充実と浸透		●					0.32	0.31	0.01
1. 経営理念(トップの価値観)			●				0.38	0.30	0.08
問49 経営姿勢への共感			●				0.32	0.01	0.31
50 コンプライアンスの浸透					○		0.56	0.53	0.03
56 経営執行の監視			●				0.25	0.35	-0.10
2. マネジメントシステム	●						0.16	0.27	-0.11
53 継続的改善	●						0.06	0.38	-0.32
54 管理者育成(人材育成)	●						-0.14	0.12	-0.26
55 現場情報の活用					○		0.56	0.32	0.24

※他社平均は、各4モード(鉄道、自動車、海運、航空)にそれぞれご用意しています

- 設問ごとに数値化します
- 同業他社平均値との比較が可能
- 自社の強み、弱みが客観的に分かります！

### ■階層別安全意識のギャップ



- 階層別の意識ギャップが鮮明に！
- 他に部門別、職種別など、分析軸はお好みで設定が可能

「お問い合わせ先」

国土交通省 国土交通政策研究所

電話 : 03-5253-8816 (直通)

URL : <http://www.mlit.go.jp/pri/>

研究官 武田、中尾

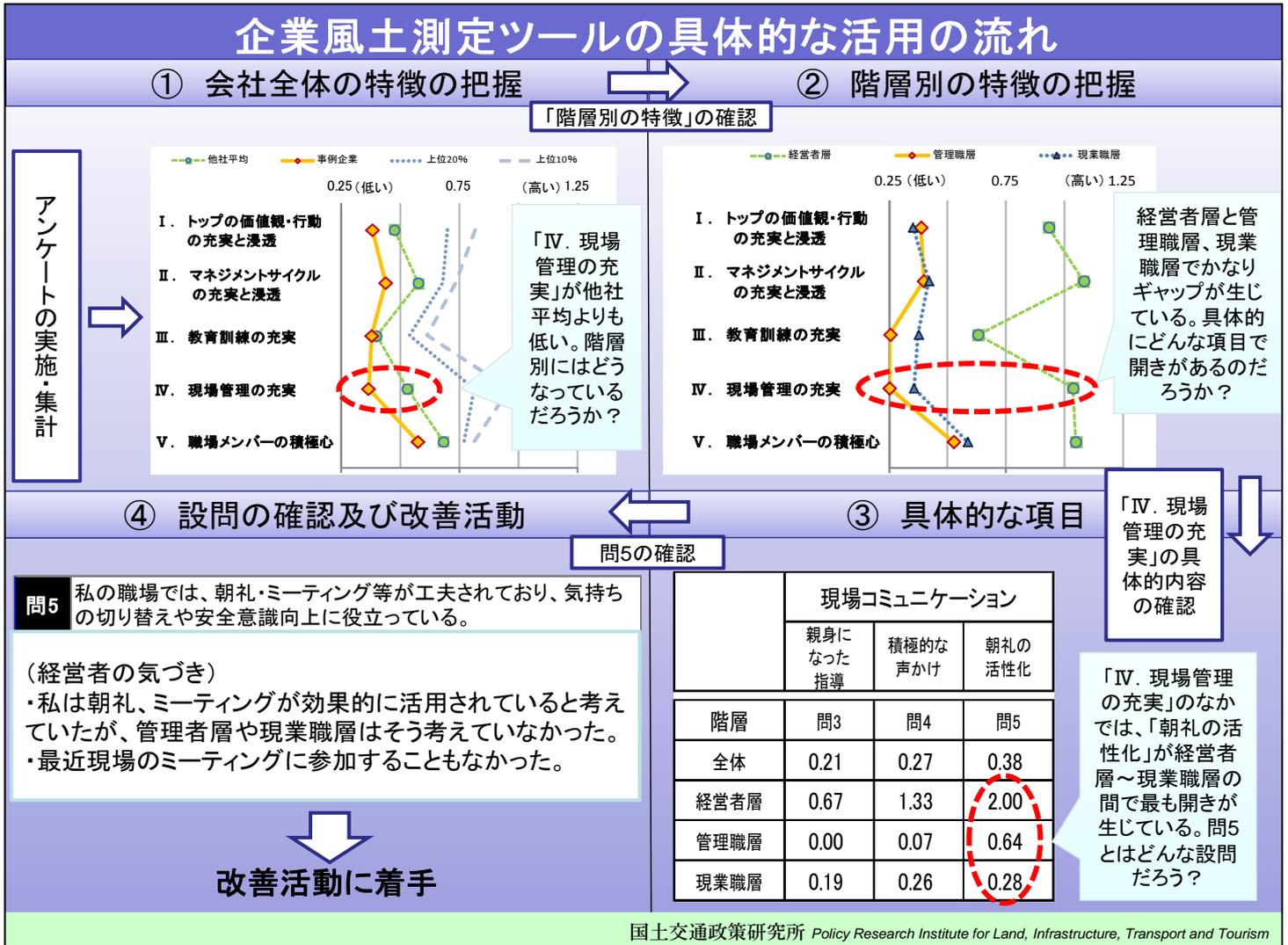
FAX : 03-5253-1678

Mail : [anzen-pri@mlit.go.jp](mailto:anzen-pri@mlit.go.jp)



国土交通省 国土交通政策研究所

## ＜企業風土測定ツールの活用例＞



## ＜利用事業者様の声＞

## ＜データ分析状況（H25.12.20 現在）＞

- ・階層別に見える化できたことで、どの階層にどんな課題があるのか、明確になった点が良かった。また職種別の分析を通じて、それぞれが抱える課題を浮き彫りにすることができた。
- ・当初から課題だと感じていた安全に対する意識を、数値ではっきり見える化することができた。
- ・ヒューマンエラーを防ぐにはコミュニケーションを通して、どれだけ安全への意識を高められるかがポイントだと思っているが、その意識を見える化できるため、社員に問題提起がしやすい。
- ・今後も継続して当データの取得を行い、改善が進んでいるのかどうかチェックしていきたい。

		1,000人未満	1,000人超	合計
鉄道	社数	15社	1社	16社
	人数	2,014名	5,266名	7,280名
自動車	社数	62社	6社	68社
	人数	15,220名	16,111名	31,331名
海運	社数	17社	0社	17社
	人数	1,685名	0名	1,685名
航空	社数	14社	0社	14社
	人数	2,906名	0名	2,906名
合計	社数	108社	7社	115社
	人数	21,825名	21,377名	43,202名

